

2023年12月期 第2四半期
決算説明資料

2023年8月10日

株式会社トレードワークス
証券コード：3997

1. 2023年12月期 第2四半期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2023年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

2023年12月期 第2四半期 概況

2023年12月期 第2四半期 連結業績

売上高

1,606百万円

営業利益

▲25百万円

四半期純利益

▲16百万円

- 人材への先行投資で、上期は利益計上ができなかったものの、下期売上拡大を見据えた期初の社内計画通りの事業進捗。
- 採用・育成などの人材投資を積極的に実施。エンジニア数は、上期時点で前期末比15%の増員となる約20名の増員に成功。今後の業績拡大へ大きな弾み。
- ペガサス・システム株式会社を完全子会社化。同社の事業成長による当社グループの規模拡大、付加価値向上を目論む。
- 投資フェーズにあるデジタルコマースは、今後の成長のため、先行投資を継続。案件数も着実に増え、事業の確立に向け、進展。

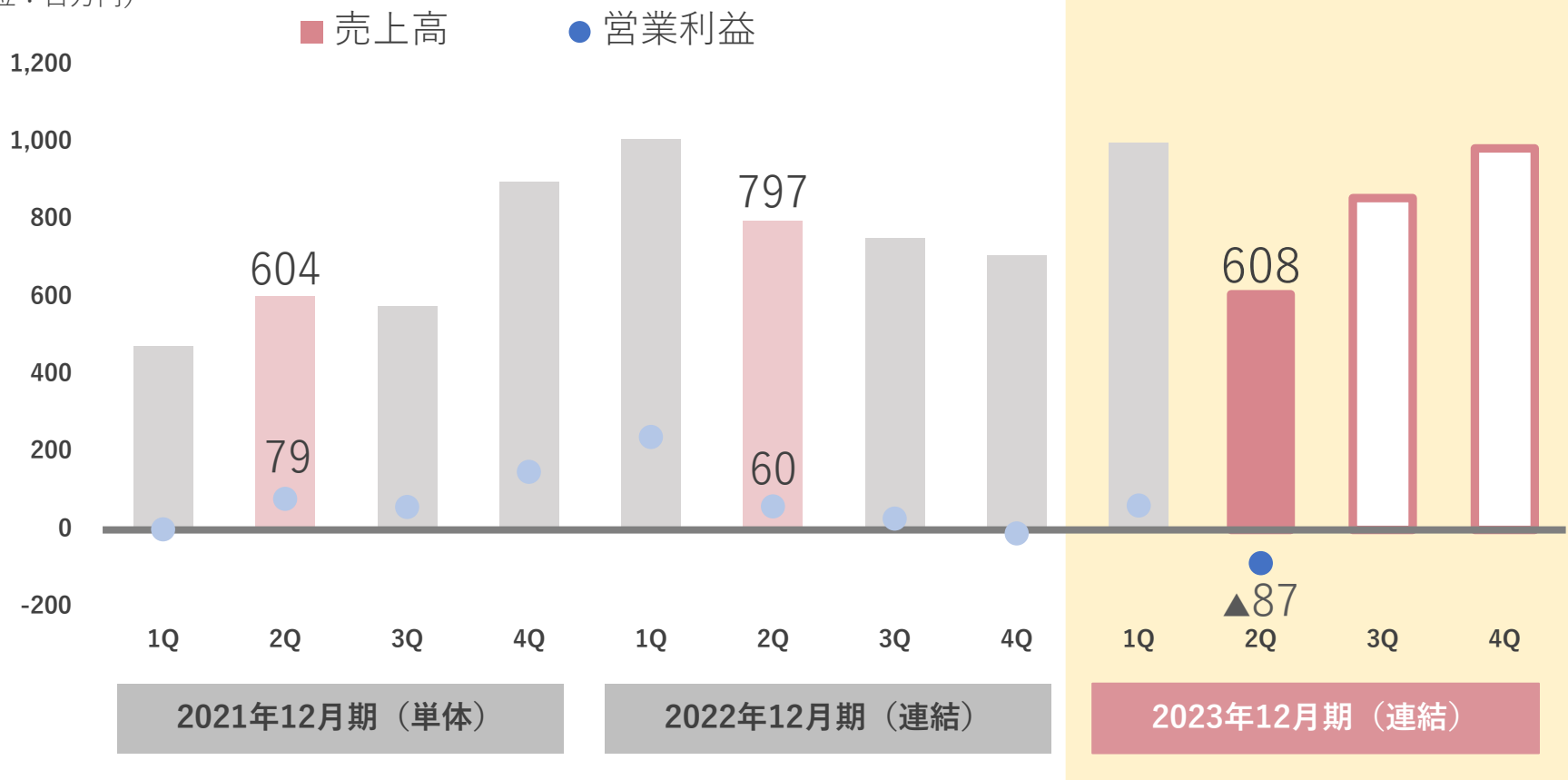
将来的な成長に向けた先行投資により、利益を押し下げているものの、下期偏重の今期において、社内計画通りの進捗。
下期に開発案件が集中しており、また新規案件の積み上げも着実に進捗。

(単位：百万円)	2022.12期 2Q	2023.12期 2Q	2023.12期 通期予想
売上高	1,806	1,606	3,500
営業利益	300	▲25	340
経常利益	306	▲21	340
四半期純利益	185	▲16	220

売上高・営業利益（四半期推移）

今期は、第3Qに黒字化、第4Qに利益が大きく積み上がる計画。
 主力の金融ソリューション事業において、第4Qに高採算案件が集中しており、
 予定通り受注残を業績に繋げるとともに、更なる上積みを目指す。

(単位：百万円)

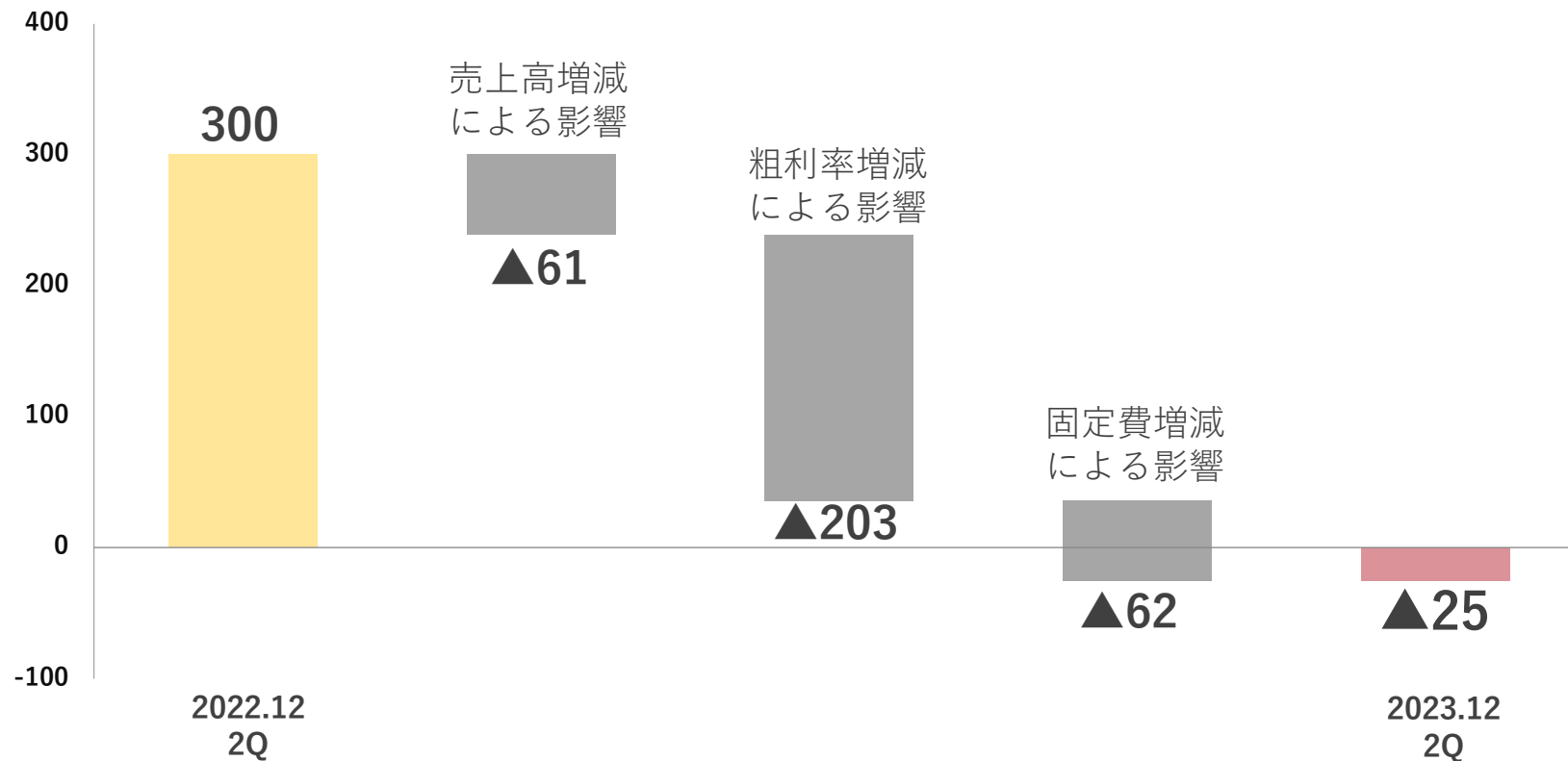


* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

営業利益増減要因

第1Qに引き続き、中期経営計画達成に向けた人員の増強やインフラ設備の強化等への成長投資を積極的に行ったことにより、前年同期比でコストが増加し、減益。

(単位：百万円)



貸借対照表

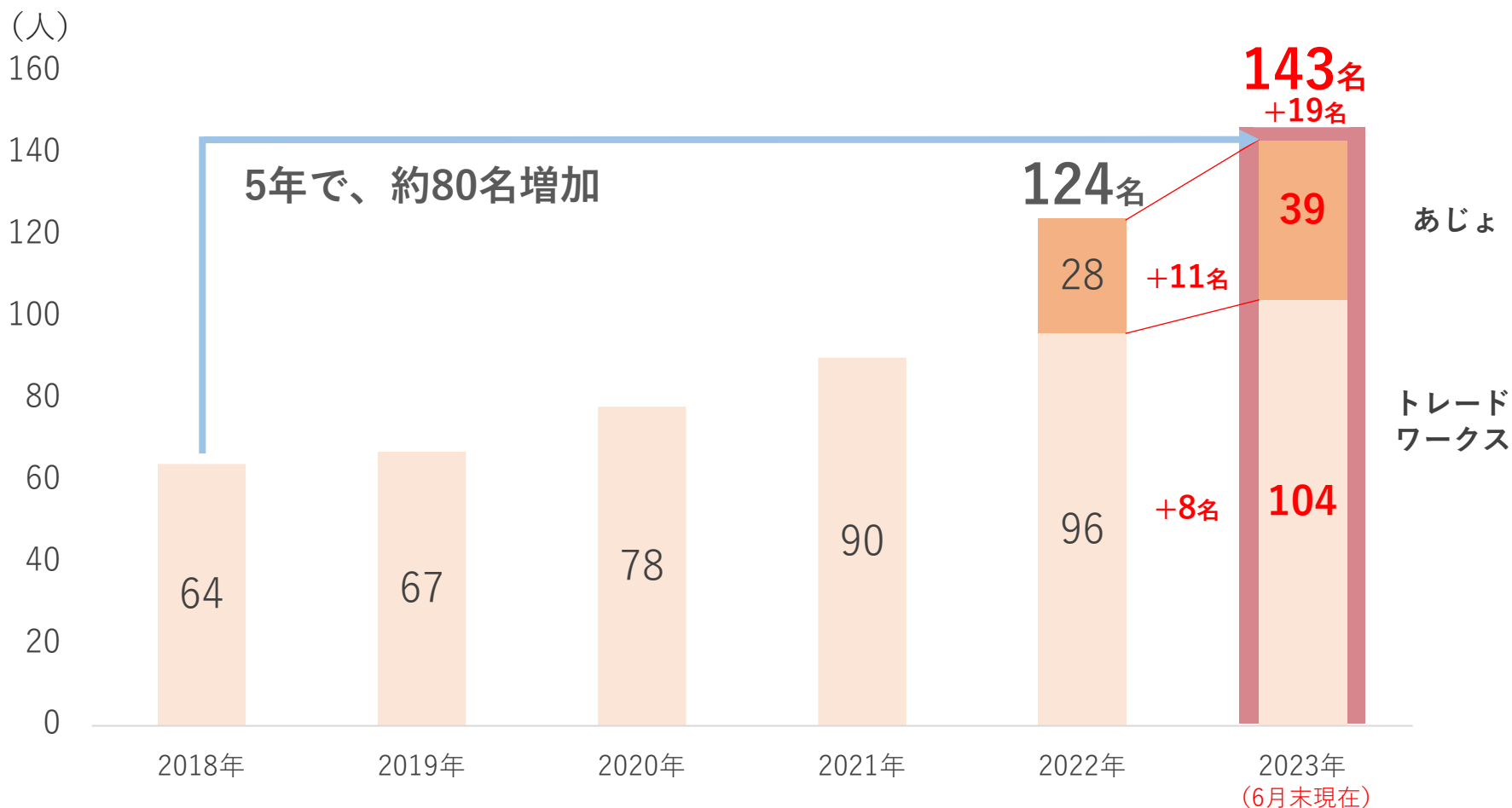
(単位：百万円)

	2022.12期	2023.12期 2Q	増減額
	連結	連結	
流動資産	1,354	1,205	▲148
現金及び 預金	688	545	▲143
売掛金	195	240	45
固定資産	824	742	▲82
有形 固定資産	77	80	2
無形 固定資産	269	214	▲54
投資その他 の資産	477	447	▲29
資産合計	2,178	1,948	▲230

	2022.12期	2023.12期 2Q	増減額
	連結	連結	
流動負債	539	353	▲186
買掛金	123	130	7
未払法人税	3	17	14
固定負債	176	188	12
純資産合計	1,463	1,407	▲56
負債・純資産 合計	2,178	1,948	▲230

エンジニア数推移

今期、中間期時点ですでに、約20名のエンジニア数を増員。
下期以降の収益貢献に向けて順調な採用状況。
育成重視採用を継続。エンジニア数は5年間で倍以上に増加。



* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い、2022年から連結の人数を記載しております。

TOPICS

先端テクノロジーを用いた 当社オリジナルのメタバースプラットフォーム「Meta Village」

「こころといのちのメタバース」サービス開始

社会的弱者・不登校対策に取り組んでいるNPO法人と相談者、相談員希望者をつなぐマッチングプラットフォームです。「Meta Village」の特徴であるアバターを通じた「匿名性」「リアリティ」「双方向コミュニケーション」が悩みを抱えておられる方々に解決の一助となる他、「救う」お手伝いを希望する方々とNPO法人様との出会いのきっかけにさせていただきたいと願っております。

参加団体

- ・ 特定非営利活動法人
日本ピーススマイル協会 様
- ・ NPO法人 地域福祉推進事業団
いのちのほっとステーション 様



金融ソリューション、デジタルコマースにおける成長投資として 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証取得

ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の第三者認証基準である国際規格「ISO/IEC 27001:2013(JISQ 27001:2014)」を2023年3月27日付で取得いたしました。機密性が大きく求められる金融業界、EC分野において、今まで以上にお客様から信頼され、求められる企業となるべく、当認証を取得いたしました。引き続き業績拡大と更なる成長に向け、邁進してまいります。

ISO/IEC 27001:2013(JISQ 27001:2014)とは



情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に関する国際規格であり、情報の機密性・完全性・可用性をマネジメントし、組織が保護すべき資産に対して、情報セキュリティ管理体制を構築・運用し、継続的な改善を管理していく仕組みです。

ペガサス・システム株式会社 完全子会社化

当社は、テクノロジーファーストを志向し、中計最終年度の2026年に売上高60億円を目指しております。またシステム開発技術力で業界内でも評判の高いペガサス・システム社の子会社化により、中計達成を目指します。今後は、両者が成長するための補完体制を整備し、それぞれの成長に力を注ぎ、グループ力向上、規模拡大に向けた取り組みを進めます。

ペガサス・システム株式会社 概要

事業内容 : コンピュータソフトウェアの開発運用及び保守
設立日 : 1984年5月2日
代表者名 : 井上 陽太 (2023年8月現在)
所在地 : 東京都渋谷区道玄坂1-19-13 トップヒル並木ビル10階

事業環境認識・当社の取り組み

当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲は、 コロナによる制限緩和後も旺盛

フィンテックによる金融業界
新規参入業者の増加



5G通信の商用サービス
国内4キャリアでスタート



働き方改革で
自動化・効率化・省力化等の
システム投資への需要が高まる

金融システムの
セキュリティに関する事案の増加



証券会社システム強化への
機運の兆し



2023年12月期の位置づけ

業績拡大の継続 ・ 収益力の更なるUP + 成長、飛躍への基盤整備

5年間で2.4倍の企業規模への拡大を目論む中期計画において、初年度を終え、4年間で1.8倍の成長が必要。想定通りのスピードで計画遂行中であり、業績向上と将来の飛躍の両面を堅実に実行。

重点施策

前期に掲げた以下の施策を継続強化

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化
- ③ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

堅調 既存・新規顧客の提案強化

- ・積極的なIT投資需要に対し、既存・新規顧客への新規案件の提案を強化。
- * 新NISA制度開始需要の高まりを捉えるべき、顧客折衝を強化。

進展 メタバース領域へのプラットフォームを提供

- ・金融システムのノウハウを活かし、新領域へ展開。
- * 教育関連企業、団体からの引き合い、受注も進展。

進展 新分野への積極投資

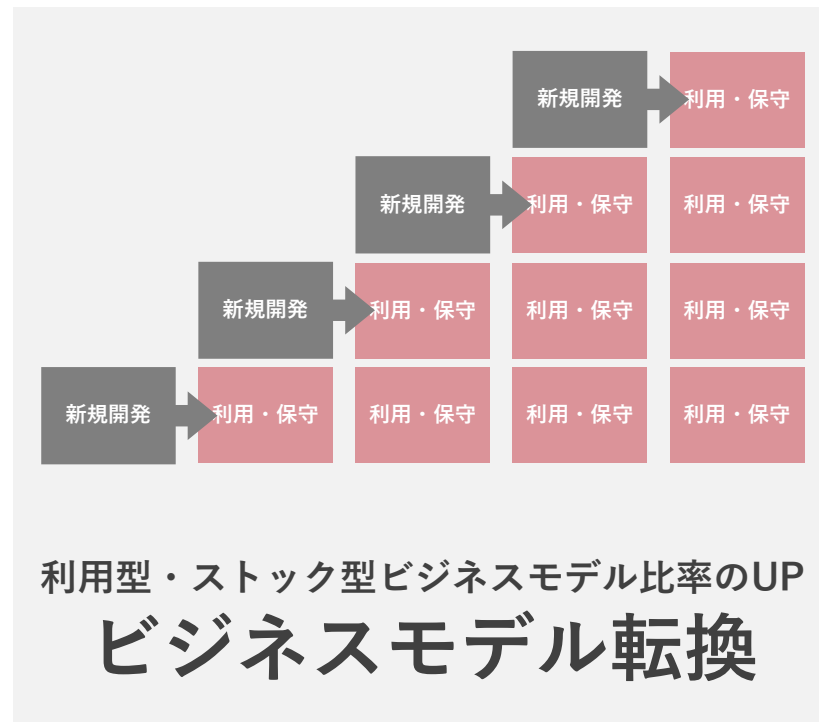
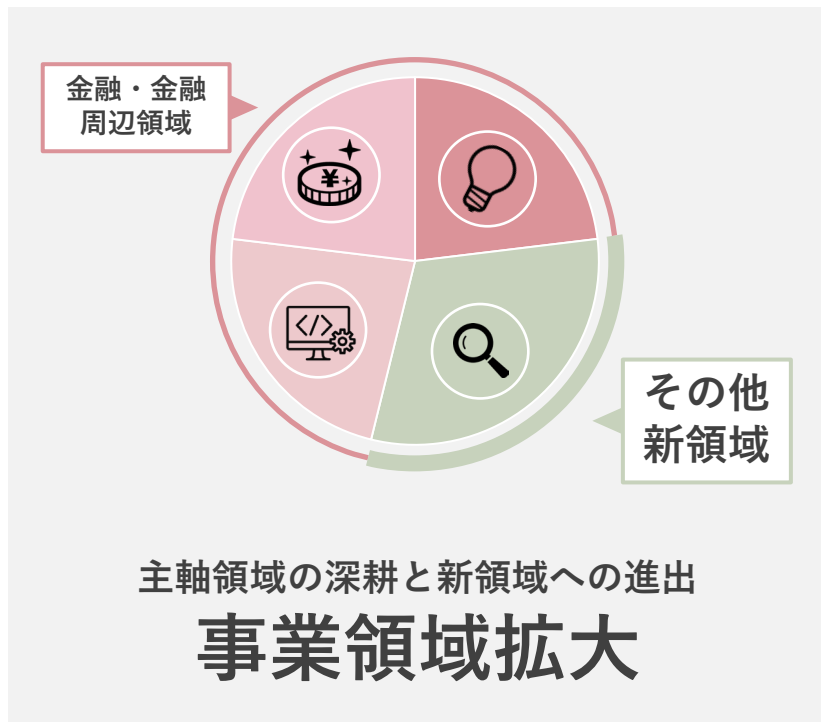
- ・デジタルコマースなどの新規事業へ積極的に投資。
- * 顧客の要望を汎用的に叶えるため開発強化を継続

強化 積極的な採用活動

- ・育成重視の採用に注力。
- * 採用活動が順調に進展し、今期に入り、約20名エンジニアが増加

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

2023年12月期 業績予想

既存顧客との取引拡大および新規顧客の開拓を進め、
2023年12月期は引き続き、期初計画通りの見通し。

* 本年7月の完全子会社化したペガサス・システム株式会社の業績を含めた**新たな通期業績予想は、業績見込みが確定次第、速やかに開示いたします。**

(単位：百万円)	2021.12期 単体	2022.12期 連結	2023.12期 連結 (予)
売上高	2,553	3,270	3,500
営業利益	287	318	340
経常利益	289	327	340
当期純利益	189	200	220

* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1株あたり15円を予定

	2021.12期	2022.12期	2023.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	15円	15円

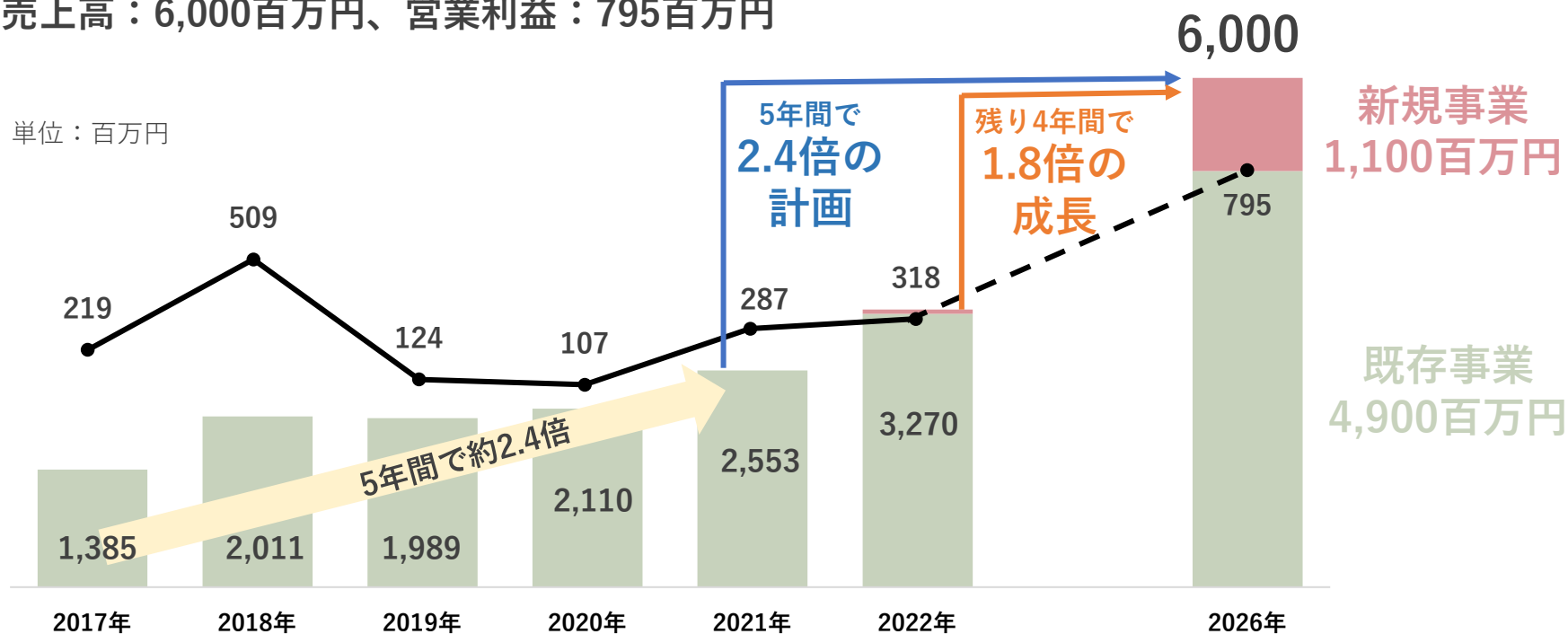
ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年

永続的な成長の礎を築くための計画として、2022年12月期を初年度とし、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域 + α で
2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

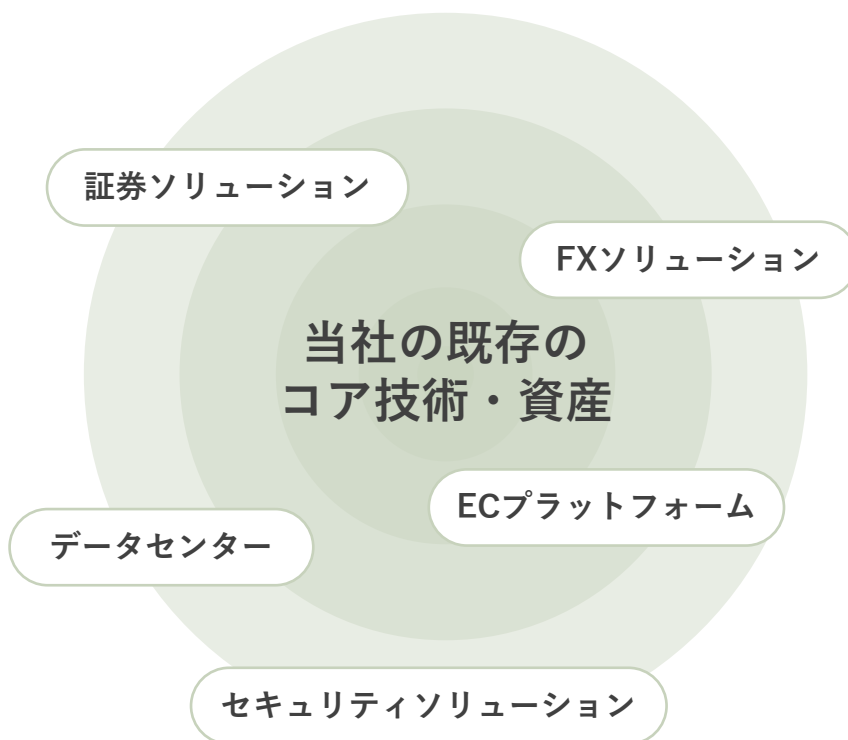
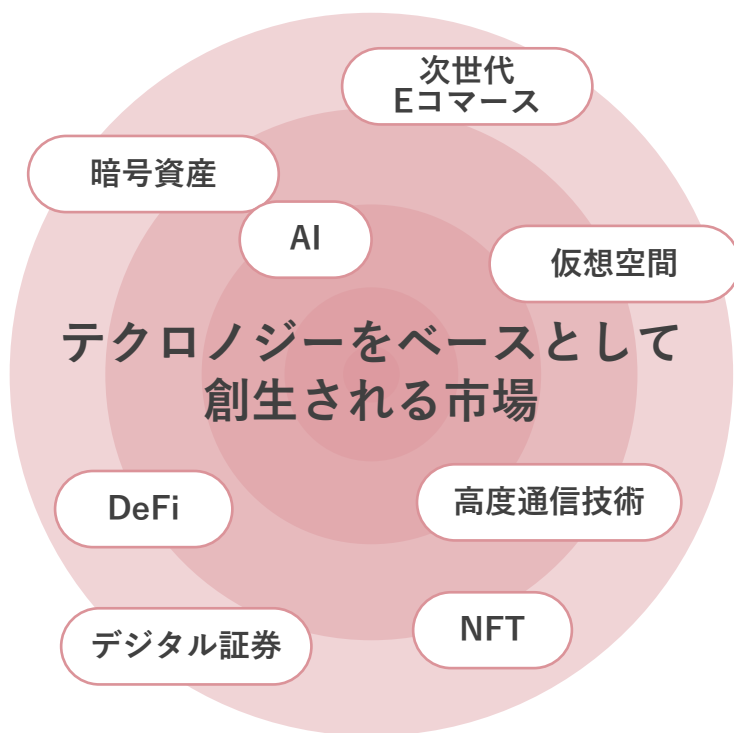
2026年12月期目標

売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



当社の目指す姿

次世代金融、新デジタル時代を見据えた
テクノロジー・ファースト型の企業成長



目標数値

既存事業におけるストック率の向上

- ストック売上高目標 **3,074**百万円（2022年12月期：1,606百万円）
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%**（2022年12月期：51.2%）

新規事業の育成

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

新規事業の育成

- エンジニア数 **210**人（2022年12月期：124人）

appendix

技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>